

令和 7 年度ごみゼロやまがた推進功労者表彰について

このことについて、このたび被表彰者を決定しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1 ごみゼロやまがた推進功労者表彰について

ごみの減量化やリサイクル等の実践活動及び普及啓発等に取り組み、3 R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に功績があった個人・団体を表彰し、「ごみゼロやまがた」の実現に資することを目的として、ごみゼロやまがた推進県民会議が平成19年度から行っています。

2 令和 7 年度被表彰者（3 団体）について

被表彰者は、各市町村、各市町村教育委員会、各団体等からの推薦又は自己推薦による候補者の中から、ごみゼロやまがた推進県民会議に設置する表彰審査会において審査の上、次のとおり決定しました。

① 山形市立第一小学校（山形市）

【功績】 平成18年度から20年間、児童会が中心となり、全校児童で資源回収に取り組み、地域住民の方からも家庭の資源を持参いただくなど、地域と連携しながら回収を行っている。

令和 5 年度から、旧校舎をリノベーションし、創造都市やまがたの拠点施設として整備された「やまがたクリエイティブシティセンターQ 1（キューイチ）」の美化奉仕活動を児童が行っている。

② もがみ南部商工会女性部（最上町）

【功績】 令和 2 年度から、部員に呼びかけて毎年多くのペットボトルキャップを回収し、最上地区の企業と連携してNPO法人に寄贈しており、発展途上国の子どもたちにワクチンを贈る「エコキャップ推進運動」に活用されている。

令和 5 年度の研修会では家具を製造したときに発生する木の端材を使った「箸づくりワークショップ」を実施し、資源を有効に活用するリサイクルについて学び、理解を深めている。

平成12年から部員を通じて家庭で使わない新品のタオルや使用済みのタオルを収集し、最上町の福祉団体や福祉施設に寄贈したことが評価され、平成29年10月に、ごみゼロやまがた推進功労者表彰を受賞した。その後も継続してタオルを寄贈しており、施設利用者の方のからだ拭き用のタオルや、施設の掃除用のタオルとしてリユースされている。

③ 酒田市立亀ヶ崎小学校（酒田市）

【功績】 平成26年から12年間、毎年春（5月）に最上川河川清掃に取り組み、地域河川の環境美化活動を行っている。

活動にあたっては、事前に川をきれいにし、環境を大切にする意義についての説明を受け、活動後は清掃体験で感じたことを踏まえ、環境ポスターを作成するなど、児童が環境保全について深く考えるきっかけを持ちながら活動を継承している。

※「ごみゼロやまがた推進県民会議」

「山形県循環型社会形成推進計画」の達成状況の確認や事業の評価等を行うこととして、平成18年 7 月に設置された。構成メンバーは市町村、消費者団体、NPO、商工業・製造業等の代表及び公募の委員24名。県循環型社会推進課が庶務を行う。

【問い合わせ先】

山形県環境エネルギー部循環型社会推進課
課長補佐（総括）上野
電話 023-630-2324